

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 公告掲載URL http://www.nippan-inc.co.jp/ir/koukoku.html

お知らせ

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

☎ 0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部) (通話料無料)

☎ 0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部) (通話料無料)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



第**49**期
中間期

事業活動のご報告

平成18年4月1日～平成18年9月30日

市場のニーズに即応する商品を開発・提案し、
ブランド力強化に向けた取り組みを推進しています。



代表取締役社長 石川 隆重

Q まずは当中間期の業績についてお聞かせください。

A 当社は、いかなる経済情勢の下でも「業績の継続的向上」と「企業の社会的責任を果たす経営」を常に念頭において諸施策の実行につとめています。当中間期においてもこのスタンスを変えることなく、従来の諸施策を継続・発展させることで業容の拡大につとめてきました。

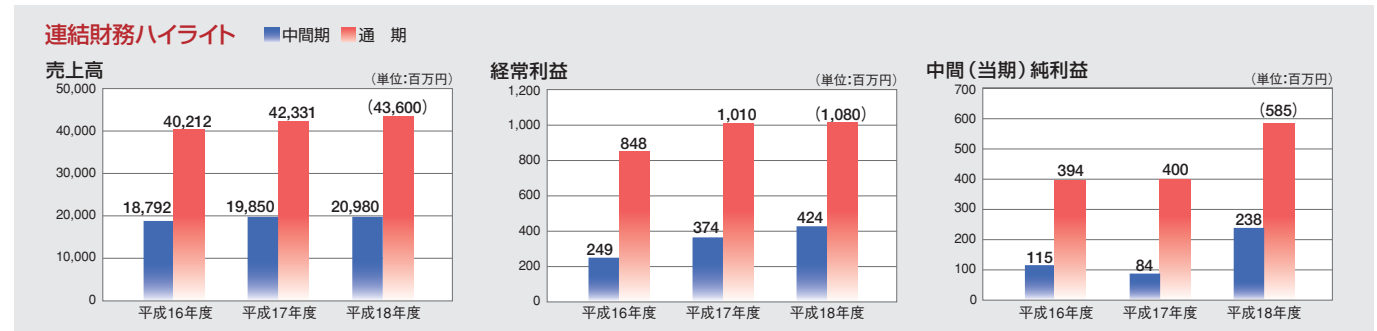
当中間期においては、オートパーツ事業では、国内補修部品市場の成熟化が進行する中で、市場競争が激化し、依然として厳しい状況が続いておりますが、自動車リース業界との連携強化による乗用車市場向け **△GREEN** (グリーン) ブランド商品の売上拡大や、モータースポーツブランド **Endura-Tech** (エンデュラテック) の積極投入などを図ってきました。

プレジジョンパーツ事業では、主な納入先である自動車関連産業が堅調に推移し、全体的に安定した景況が続く中で、コア技術を有する協カメーカーとの連携強化や戦略商品の開発スピードアップなどにより好調に売上を伸ばしました。

IT事業では、光デバイスの需要増加など、概ね回復基調で推移する中で、パートナー企業の発掘と連携や、顧客のニーズに適したネットワーク・セキュリティ関連機器・サービスの提供により、事業収益基盤の確立を進めました。

その結果、当中間期の連結業績は、売上高は209億80百万円(前中間期比5.7%増)、経常利益は4億24百万円(前中間期比13.3%増)、当期純利益は2億38百万円(前中間期比183.0%増)と、業績予想を若干上回るとともに前中間期比で増収増益を達成しました。

なお、通期の見通しにつきましても、当初の業績予想どおり売上高436億円、経常利益10億80百万円、当期純利益5億85百万円を見込んでいます。



Q あらためてニッパンの事業と強み、そして事業戦略についてお聞かせください。

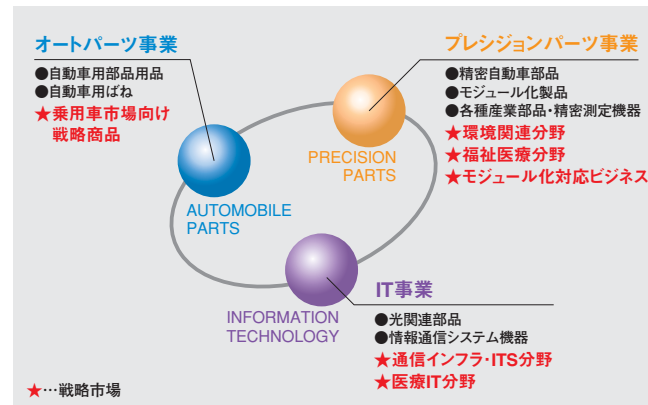
A 当社は、自動車用補修部品を取り扱う「オートパーツ事業」、精密加工部品を取り扱う「プレジジョンパーツ事業」、情報通信・光通信市場に向けた「IT事業」、という3つの事業を展開している専門商社です。

オートパーツ事業では、自動車補修部品市場のニーズに応える品質とコストのバランスが取れ、かつ信頼性の高い商材を提案・提供しています。全国に展開した地域密着型の営業拠点網、自動車リース業界との連携、プライベートブランド商品の品質・コスト競争力を強みに、お客様とともに成長する「ベストパートナー」をめざしています。

プレジジョンパーツ事業は、自動車産業をはじめ幅広い産業の生産ラインに向けて、多様な加工技術を駆使した部品を開発・提供しています。優れた精密金属加工技術を有する協カメーカーとのネットワーク、自動車部品メーカーとの取引で培った高い要求品質への対応力、ニッチ市場の発掘で高めた営業力によって、今後の成長分野へのプロジェクト活動に重点をおいた開発提案営業を推進していきます。

IT事業は、光関連部品と情報通信システム機器の2部門からなり、他社とは一線を画した優位性のあるオリジナル商品を提供しています。光関連分野では光インフラ用部品に求められる超精密加工技術のある協カメーカーとの提携、情報通信システム分野では医療システム業界とのパイプと、情報セキュリティに関連した独自の商品・サービスにより、次代を見据えたビジネスを展開しています。

そしてこれら3事業間の相乗効果をさらに追求するとともに、当面の課題である海外市場の一層の開拓を重点的に推進し、またニッパングループ全体の連携を高めることで、一層の収益拡大をめざしていきたいと考えています。



●当中間期の戦略商品

オートパーツ事業

Endura-Tech フラットワイパー

フラット形状のスタイリッシュなエアロデザインで、スポイラー効果により高速走行時の音や浮き上がりを防ぐブレード。従来品に比べベタベタシヨウが均一にかかるため拭きムラがありません。リフィール部分はグラファイトコートにより撥水コート対応とした高付加価値品です。



プレジジョンパーツ事業

インジェクター用部品

社会的に環境負荷軽減の取り組みが広がる中、燃費向上と性能維持のために高い加工精度を実現した加工品を提供。主要メーカーのお客様に安心してお使いいただける品質を実現しています。また、出荷実績推移を常に把握・評価し、品質改善を続けています。



IT事業

認証システム

ICカードやUSBなどのハードウェアをはじめとして、指紋・静脈データ・顔など各種バイオメトリクス認証をセキュリテイKEYとした、高セキュリティの認証システム。PCへの不正アクセスや情報漏洩の防止など、社内セキュリティの強化を実現しています。



Q 現在注力されている経営上の取り組みについて
お聞かせください。

A いま、企業経営においてもっとも注目され、また課題でもあるのは「企業の社会的責任を果たす」ということであると思います。なかでも株主・投資家のみなさまに対する責任は、業績の継続的向上を確実に達成し成果配分を充実していくことであると考えています。そのために、経営を外部からの視点でチェックすることが重要であると認識しており、現在コーポレート・ガバナンスの強化にも注力しています。

具体的な取り組みとしては、この春の会社法施行を契機に、社内行動規範の内容を一部見直し、〈経団連の企業行動憲章〉をニッパングループのコンプライアンスの要として共有することを盛り込みました。その内容を社内ポータルサイトへの掲示や定期的な研修の実施により、役員・社員全員に浸透するようつとめています。

特に、経営に関しては、当然のことですが意思決定における社内ルール厳守を今後も徹底していきます。個別の取り組みとしては、全社的なリスクマネジメント活動により企業経営へのあらゆるリスクへの対応を十分に行います。とりわけ社内に潜むリスクに対しては、今後日本版SOX法への対応に取り組んでいく中で内部統制の仕組みの充実を継続していくことで対応していく方針です。

また、経営に関わる重要な社会問題となっているメンタルヘルスへの取り組みとして、管理者へのe-ラーニング教育の実施、カウンセリング斡旋など地道に継続して取り組んでいきたいと考えています。



以上のような取り組みを通じ、ニッパンは企業価値の増大につとめてまいります。株主の皆様には、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石川 隆重

Profile	経歴	職歴
● 昭和42年4月	日本発条(株)入社	
● 平成 9年6月	同社取締役営業本部副部長	
● 平成14年6月	同社常務取締役	
● 平成15年6月	(株)スニック代表取締役	
● 平成15年6月	日本発条(株)常務取締役営業本部長	
● 平成17年6月	同社取締役専務執行役員・営業本部長	
● 平成18年6月	当社代表取締役社長(現任)	

TOPICS

**戦略商品の販売強化に向けて、
物流センターを増床しました。**

オートパーツ事業の乗用車向け戦略商品用として建替え増床を実施していた物流センター(埼玉県栗橋町)新倉庫が完成し、5月8日から運用を開始しました。新倉庫では、出入庫業務に無線バーコード管理システムを導入し出入荷精度の向上を図り、業務を効率化することで戦略商品拡販を支えるニッパン物流の要として、機能発揮を目指します。



**営業強化に向けて、
北海道支店を移転しました。**

北海道支店は、営業の効率化とお客様へのよりよいサービス提供を図るため、札幌市中心部から白石区へ移転し、9月25日から営業を開始しました。白石区は東西に伸びる交通網が発達しており、市内・道内の物流拠点として流通業務団地、公共トラックターミナルなど数多くの施設が立地しています。この絶好のロケーションへの移転を機に、お客様の期待に応えるべくますますの営業強化、顧客サービス向上に取り組んでいきます。



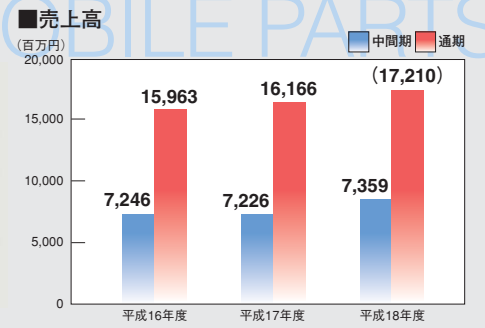
セグメント別営業概況

オートパーツ事業

AGREEN ブランド商品が堅調な乗用車向け戦略商品の売上高は18億50百万円(前中間期比6.9%増)と順調に推移したほか、自動車補修用ばねやタイヤチェーンも売上が伸びましたが、スチールホイールを始めその他の自動車用部品用品が前中間期比を割り込み、事業全体の売上高は73億59百万円(前中間期比1.8%増)、営業利益は販売費が増加したことで1億18百万円(前中間期比0.7%減)となりました。



グリーンエレメント

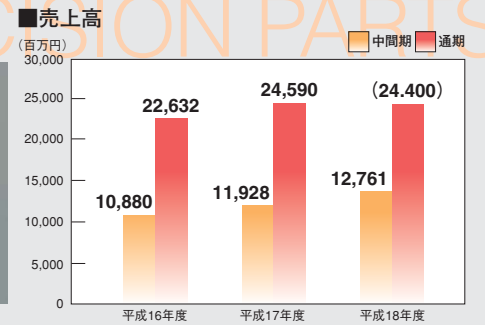


プレジジョンパーツ事業

インジェクター用部品・電動パワーステアリング用部品が引き続き大きく成長し、これらを含む戦略商品の売上高は33億34百万円(前中間期比8.7%増)と伸長しました。また、トノカバーの減少があったものの、好調な自動車産業向けのねじや切削加工品などが増加し、事業全体の売上高は127億61百万円(前中間期比7.0%増)、営業利益は2億83百万円(前中間期比3.0%増)となりました。



ハイトアジャスタブルスタンド

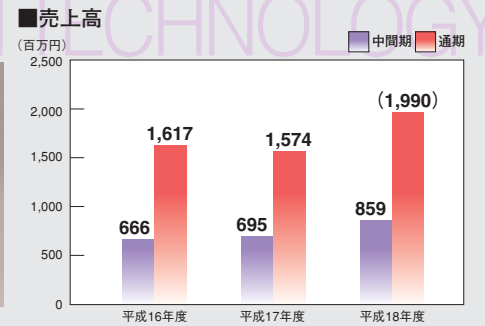


IT事業

情報通信システム機器では液晶ディスプレイその他パソコン周辺機器、画像機器などが好調で、光関連では光デバイス向け精密加工品が順調に推移し、事業全体の売上高は8億59百万円(前中間期比23.6%)、営業利益は13百万円で前中間期に比べ41百万円増益となりました。



液晶タッチモニタ



決算概要(単体)

中間貸借対照表

金額(百万円)

科目	期別	前中間会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間会計期間末 (平成18年9月30日)	前会計年度末 (平成18年3月31日)
	資産の部			
I 流動資産		15,737	17,521	16,116
現金及び預金		708	2,587	935
受取手形		1,837	1,878	2,108
売掛金		7,311	7,263	7,863
たな卸資産		3,391	3,222	3,060
繰延税金資産		179	217	270
短期貸付金		1,813	1,705	1,331
その他		504	655	556
貸倒引当金		△ 9	△ 9	△ 10
II 固定資産		6,943	6,836	7,323
有形固定資産		(5,302)	(5,083)	(5,492)
建物		1,568	1,715	1,650
土地		3,619	3,235	3,619
その他		113	132	221
無形固定資産		(24)	(37)	(25)
投資その他の資産		(1,615)	(1,715)	(1,806)
投資有価証券		1,047	1,159	1,324
その他		629	619	546
貸倒引当金		△ 61	△ 64	△ 64
資産合計		22,680	24,357	23,439

金額(百万円)

科目	期別	前中間会計期間末 (平成17年9月30日)	当中間会計期間末 (平成18年9月30日)	前会計年度末 (平成18年3月31日)
	負債の部			
I 流動負債		13,591	18,053	16,900
支払手形		1,850	1,928	1,634
買掛金		10,602	12,903	11,799
短期借入金		200	2,000	2,000
未払法人税等		80	297	368
役員賞与引当金		—	16	—
その他		856	906	1,099
II 固定負債		3,625	407	682
長期借入金		3,000	—	—
退職給付引当金		254	120	199
役員退職慰労引当金		230	252	241
繰延税金負債		141	34	241
負債合計		17,216	18,460	17,583
資本の部				
資本金		2,040	—	2,040
資本剰余金		1,251	—	1,251
利益剰余金		1,823	—	2,056
その他有価証券評価差額金		353	—	513
自己株式		△ 4	—	△ 5
資本合計		5,464	—	5,856
負債、資本合計		22,680	—	23,439
純資産の部				
I 株主資本		—	5,423	—
資本金		—	2,040	—
資本剰余金		—	1,251	—
利益剰余金		—	2,137	—
利益準備金		—	318	—
その他利益剰余金		—	1,819	—
自己株式		—	△ 5	—
II 評価・換算差額等		—	473	—
その他有価証券評価差額金		—	424	—
繰延ヘッジ損益		—	49	—
純資産合計		—	5,896	—
負債、純資産合計		—	24,357	—

中間損益計算書(要旨)

金額(百万円)

科目	期別	前中間会計期間 [自平成17年4月1日 至平成17年9月30日]	当中間会計期間 [自平成18年4月1日 至平成18年9月30日]	前会計年度 [自平成17年4月1日 至平成18年3月31日]
	売上高		19,378	20,416
売上原価		15,961	16,920	33,967
売上総利益		3,417	3,495	7,312
販売費及び一般管理費		3,075	3,116	6,395
営業利益		341	379	917
営業外収益		39	42	89
営業外費用		38	37	73
経常利益		342	384	933
特別利益		0	334	0
特別損失		181	373	223
税引前中間(当期)純利益		161	345	710
法人税、住民税及び事業税		70	297	417
法人税等調整額		23	△ 126	△ 74
中間(当期)純利益		67	175	368
前期繰越利益		857	—	857
中間配当額		—	—	68
中間(当期)未処分利益		925	—	1,157

中間株主資本等変動計算書

金額(百万円)

	株主資本										評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益	利益剰余金				自株	己式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金		建物圧縮積立金	土地圧縮積立金	別途繰越利益剰余金	利益剰余金合計							
平成18年3月31日残高	2,040	1,251	1,251	318	255	161	163	1,157	2,056	△ 5	5,342	513		513	5,856	
中間会計期間中の変動額																
剰余金の配当								△ 68	△ 68		△ 68				△ 68	
役員賞与								△ 25	△ 25		△ 25				△ 25	
圧縮積立金の取崩					△ 25			25								
中間純利益								175	175		175				175	
自己株式の取得										△ 0	△ 0				△ 0	
株主資本以外の項目の中間期の変動額(純額)												△ 89	49	△ 40	△ 40	
中間会計期間中の変動額合計					△ 25			106	81	△ 0	80	△ 89	49	△ 40	40	
平成18年9月30日残高	2,040	1,251	1,251	318	230	161	163	1,264	2,137	△ 5	5,423	424	49	473	5,896	

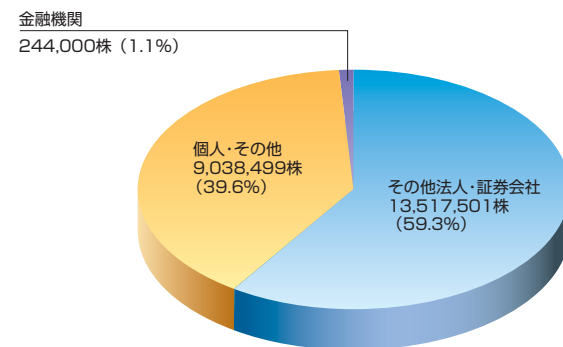
株式の状況

■会社が発行する株式の総数	80,000,000株
■発行済株式総数	22,800,000株
■株主数	1,254名

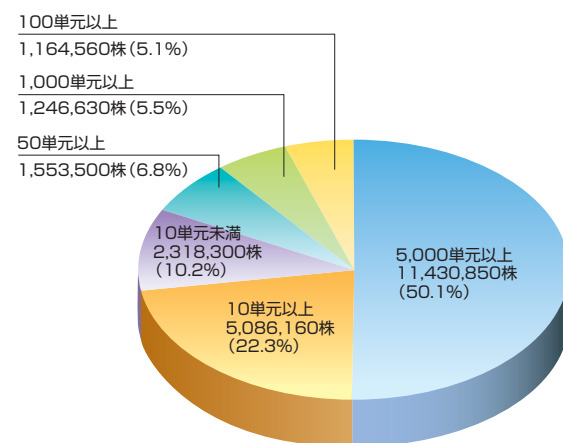
大株主の状況 (上位7名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日本発条株式会社	11,430,850株	50.14%
ニッパン従業員持株会	1,246,630株	5.47%
株式会社トープラ	314,000株	1.38%
ニッパン仕入先持株会	234,000株	1.03%
個人株主	142,000株	0.62%
大和産業株式会社	136,000株	0.60%
ニッパン得意先持株会	129,000株	0.57%

所有者別株式数分布



所有数別株式数分布



会社概要

商号	日発販売株式会社 NHK SALES CO., LTD.
設立	昭和34 (1959) 年5月14日
代表者	代表取締役会長 杉田 忠司 代表取締役社長 石川 隆重
資本金	2,040,345,700円
本社	〒135-0051 東京都江東区枝川2-13-1
従業員数	360名
事業内容	自動車及び各種機械、機器類の部品、付属品 販売業
取引銀行	みずほコーポレート銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行

役員

代表取締役会長	杉田 忠司
代表取締役社長	石川 隆重
専務取締役	南 隆造
専務取締役	中村 功
常務取締役	伊藤 和生
取締役	佐々木 謙二
取締役	天木 武彦
取締役	菅原 嗣高
取締役	柴田 吉則
取締役	高田 美隆
取締役	佐々木 孝
取締役	西岡 博司
取締役	神保 雄二
常勤監査役	増田 鈴夫
監査役	長澤 國雄
監査役	村川 正記

事業所

本社	物流センター
北海道支店	旭川営業所/釧路営業所
東北支店	青森営業所/秋田営業所/盛岡営業所/山形営業所/ 郡山営業所
北関東支店	宇都宮営業所/土浦営業所/前橋営業所
東京支店	千葉営業所/埼玉営業所
横浜支店	静岡営業所
信越支店	長岡営業所/松本営業所/長野営業所
東海支店	磐田営業所
北陸支店	高岡営業所/金沢営業所
関西支店	大阪営業所/神戸営業所
中四国支店	岡山営業所/高松営業所/松山営業所
九州支店	大分営業所/宮崎営業所/鹿児島営業所

関連会社

株式会社東洋富士製作所
ニッパンビジネスサポート株式会社
アルプススクルー株式会社
NHKインテックス社 (アメリカ)
NHKインフォテックシンガポール有限公司 (シンガポール)
タイニッパン有限公司 (タイ)